

テーマ

猶興精神をもとに地域創生を志す人材育成のための地域課題解決型キャリア教育

目標

- ・変化の激しい時代に、猶興生としての自覚を持ち、自ら課題を発見し、自治体や事業所、大学と連携しながら、よりよく解決する力を養う。
- ・地域との関わりを通して、ふるさとへの愛着を育むとともに、地域の担い手としての人材育成を目指す。

育成したい  
資質・能力

ふるさとへの  
愛着と誇り

思考力、判断力、表現力  
問題解決能力

学びに向かう  
主体性・協働性

ふるさとの未来を担う志  
リーダーシップ

外部連携機関  
(行政機関・事業所)

- 平戸市社会福祉協議会
- 平戸市教育委員会
- 平戸市役所(企画財政課・観光課・文化交流課・こども未来課)
- ・農林課・福祉課・地域協働課・長寿介護課
- 柿添病院
- 青洲会病院

連携

協働

長崎県立猶興館高等学校  
(1・2学年普通科)

総探委員会

〔委員長〕校長 〔副委員長〕教頭  
教務主任、教務副主任、進路指導主事、研修主任、学年主任、理数科主任、各学年係1名

<主な取組>

- 講話
  - (1) 平戸市役所の各部署担当者の講話を聴き、平戸の現状について理解を深める
  - (2) 専門機関に依頼し、地域創生に関する講話を聴き、これまでの調査内容を振り返り改善につなげる
- 研究テーマの設定
  - (1) 6つの分野(一次産業・二次産業・三次産業・福祉・歴史文化・地域行政)に分かれて、その分野の中でいくつかの探究活動のチームに分かれてテーマを設定する
- 地域調査
  - (1) 探究活動のチームごとに外部連携機関にインタビューやアンケート調査を行い、各テーマを実現するための問題点を明確化する
  - (2) 観光で平戸を訪れた人にアンケートを実施し、平戸の現状を客観的に分析する
- 研究課題の設定
  - (1) フィールドワークを行い、地域課題を分析し問題点の解決に向けてチームごとに考察を深め、解決案を作成する
  - (2) 外部連携機関に解決策を提示し、改善すべき点を協議する
  - (3) 地域課題の改善に向けて、イベント開発など具体的な対策に取り組む
- 研究成果の発表
  - (1) 中間発表会(令和6年9~10月)
  - (2) 実践発表会(令和6年12月~令和5年1月)

<成果指標>

- ①課題を発見することができた(1年)
- ②課題解決に向けて活動することができた(2年)
- ③ふるさとに対する理解が深まった(1・2年)
- ④将来ふるさとの発展に何らかの形で貢献したいという意識が高まった(2年)

外部連携機関  
(大学・専門機関)

- 松浦史料博物館
- 長崎県立大学

連携

協働

地域社会(保護者を含む住民、産業、文化、歴史等)